

M's ダイアリー

文: もとき内科クリニック 院長 大江 元樹

Vol.1 あなたの咳、喘息ではないですか？

かぜで咳がでることはよくありますが、以下の項目に当てはまる咳は喘息が隠れている可能性があります。

- 小児喘息の既往がある（あるいは喘息と以前に言われたことがある）
- 家族に喘息の人がいる
- ぜいぜいしたことがある
- かぜをひくと咳が長引きやすい
- でだすと止まらない咳（吐くほどの咳など）
- 市販の風邪薬や鎮咳剤がきかない

かぜ症状でクリニックや病院を受診する方の多くは実は喘息が隠れています。喘息が隠れているために咳、痰などの症状が重くなり受診につながるのです。

かぜや気管支炎の診断で、病院等でも風邪薬や鎮咳剤・抗生剤などが処方され、改善しないため喘息の診断にたどり着くまでに、3-4 か所の医療機関を受診されている場合も少なくありません。その原因として患者さん側や医療者側にもいくつかの誤解があります。

誤解その1

小児喘息はなおる病気であるとの誤解。

喘息は慢性の病気であり、遺伝子が発病に関連しているためいったん喘息と診断された場合は、その方は一生喘息です。ただし、小児喘息のように一時的に症状がなくなることはあります。また、成人喘息の場合でも、ステロイド吸入で症状のコントロールが可能になりますが喘息でない体になれるわけではありません。



誤解その2

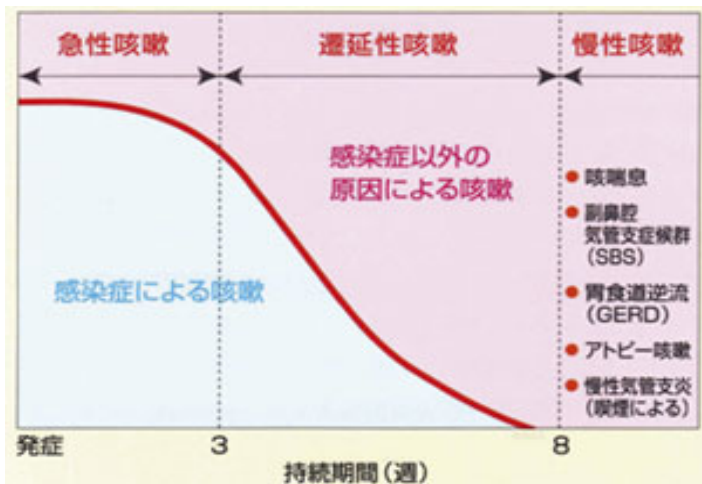
喘息の症状はゼイゼイすることで、咳は喘息の症状ではないとの誤解。

息がゼイゼイする場合は喘息の診断は確かに容易ですが、実はこの喘鳴で診断されるよりも、咳症状から喘息の診断につながることも多いのが現実です。咳は喘息のメインな症状です。

誤解その3

かぜの咳はながびくと思い込む誤解。

感染後咳嗽といって、感冒後に最大2か月までは咳が長引くことがあります。生涯でそのような経験はおそらくあっても1回でしょう。2回、3回と長引く咳がある場合はその経過だけで喘息を強く疑う証拠になります。一般的にかぜ症状は1週間から10日を超えないのが原則です。2か月以上持続する咳嗽は喘息が原因であることが多いです。



今月のポイント

- ① 1週間以上持続する咳嗽は要注意！
- ② 喘息は治癒することは困難ですが、的確な診断と適切な治療で症状のない生活は送れます。(フィギュアスケートの羽生選手も喘息です)

もとき内科クリニック

住所：藤沢市辻堂神台 1-3-39

TEL:0466-47-8216